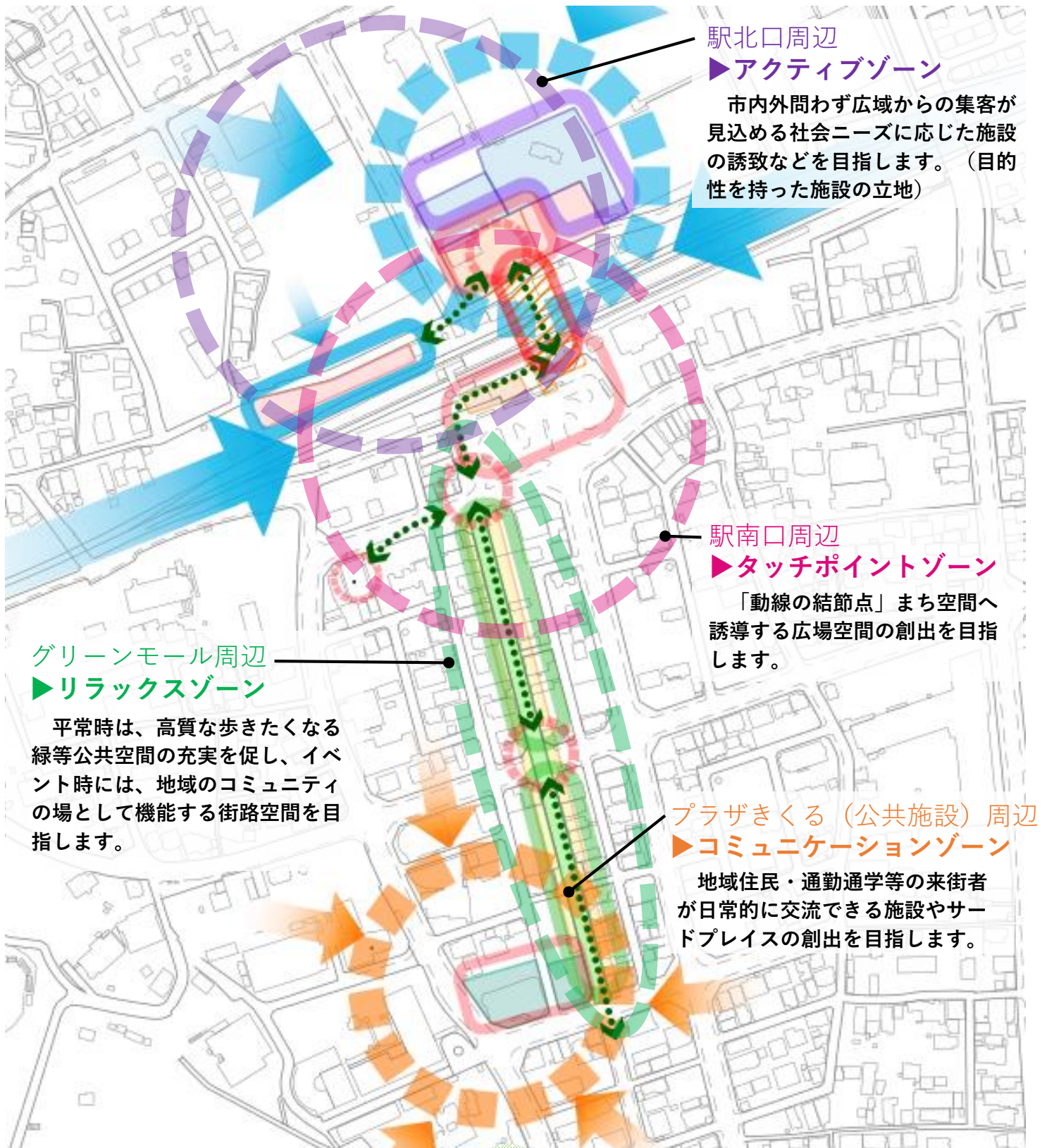


駅周辺土地利用構想図

これまで検討を積み重ねてきた結果や経緯を踏まえ、菊川駅周辺を特性ごとに4つのゾーンに分類し、土地利用の方向性を設定しました。

これらの方向性に沿った土地利用を促すため、行政や民間による整備や、さまざまなまちづくりの取り組みを進めていきます。

北側は『目的性を持った広域からの利用を見込むゾーン』、南側は『周辺の“まち”への回遊を促す結節点としての施設や動線づくりを進めるゾーン』を目指します。

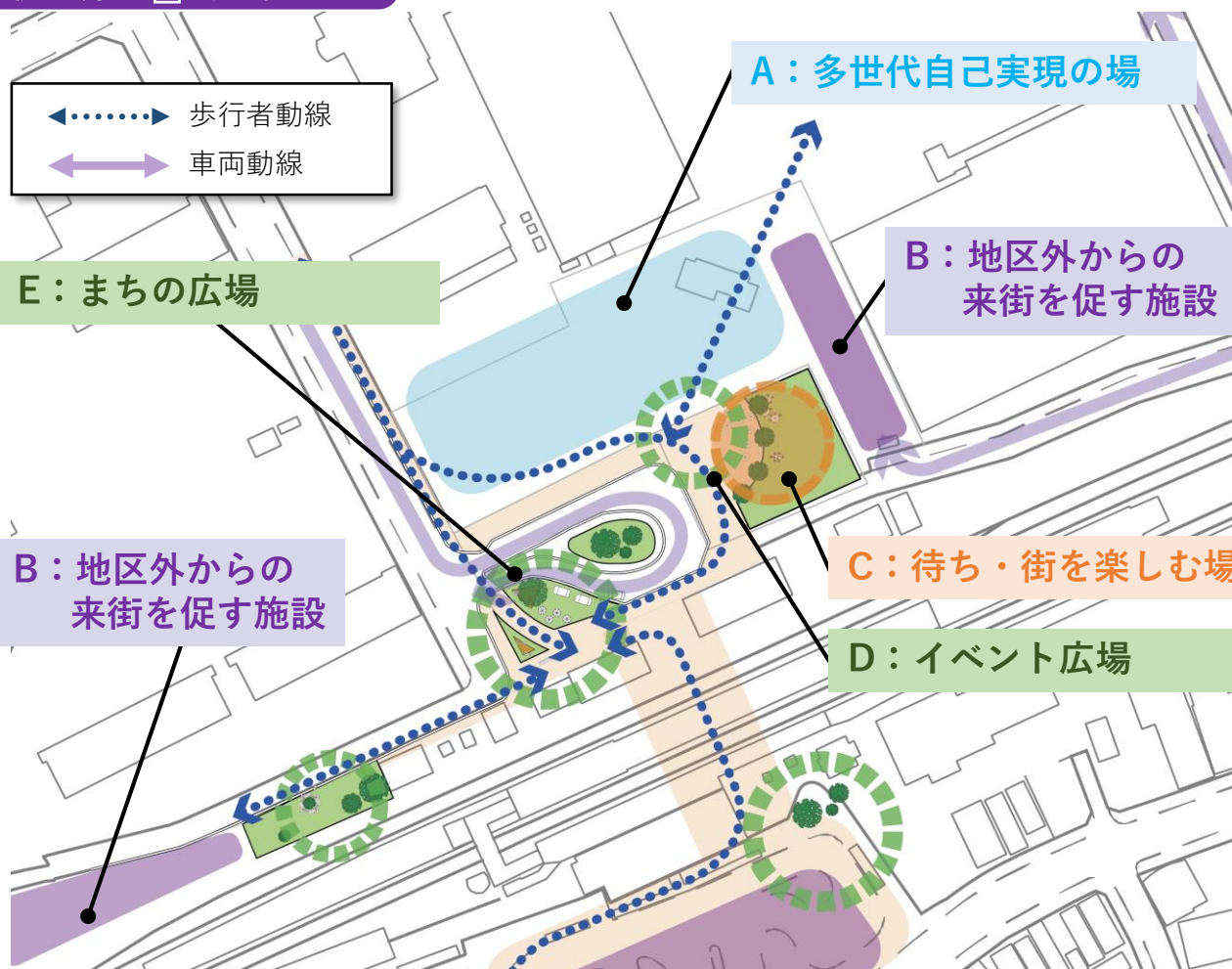


VI. 空間活用のイメージ

駅北口周辺

北側は買い物、喫茶、スポーツ等の目的性の高い施設に加えて、“待ち”を楽しむための空間づくりを進めます。

駅北口周辺 ▶ アクティブゾーン



A：多世代自己実現の場

多様な体験を提供する場。駅前の立地を活かした、民間収益施設。

- ・ 商業施設（ショッピング・飲食）
- ・ カルチャー
- ・ スポーツ施設 など

B：地区外からの来街を促す施設

駅利用者や施設利用者が利用可能な機能。

- ・ 時間貸し駐車場・駐輪場 など

C：待ち・街を楽しむ場

勉強や仕事待ち合わせなど様々な時間の過ごし方ができる場。

- ・ 図書館やワーク施設が併設されたカフェ
- ・ 菊川茶の体験施設
- ・ 広々とした芝生広場
- ・ 学習スペース など

D：イベント広場

北口の動線のコアとなる広場。世代・年代・国籍を問わず多様な人々が交流できる場。

- ・ イベント、マルシェの開催 など

E：まちの広場

電車が来るまでの間や、人との待ち合わせなど動線のタッチポイントとなる広場空間。クイック利用ができる用途の導入や、南北自由通路からの動線の整理、北口の顔となる一体的にデザインされた場。

- ・ キッチンカーやマルシェの出店
- ・ 椅子・テーブル・ベンチ など

A：多世代自己実現の場



東京都立川市 | GREEN SPRINGS

商業施設や屋外映画館、水遊び場など多様な世代が楽しむことが可能な空間整備がされています。

B：地区外からの来街を促す施設



東京都品川区 | 五反田「STYLE-B」

駐輪施設だけでなく、パーソナルモビリティのポートが設置されるなど交通のハブになっています。

C：待ち・街を楽しむ場



愛知県豊田市 | とよしば

広々とした芝生が整備され、おもいおもいの過ごし方ができる空間になっています。学生の学習の場としても利用されています。

D：イベント広場



静岡県藤枝市 | 藤枝駅イベント広場

季節に応じたイベントや地域のお祭りなどが開催され、市内外からたくさんの人が訪れます。

E：まちの広場



静岡県磐田市 | しっぺいフードパーク

キッチンカーが出店し、日毎にさまざまな飲食を楽しむことができます。

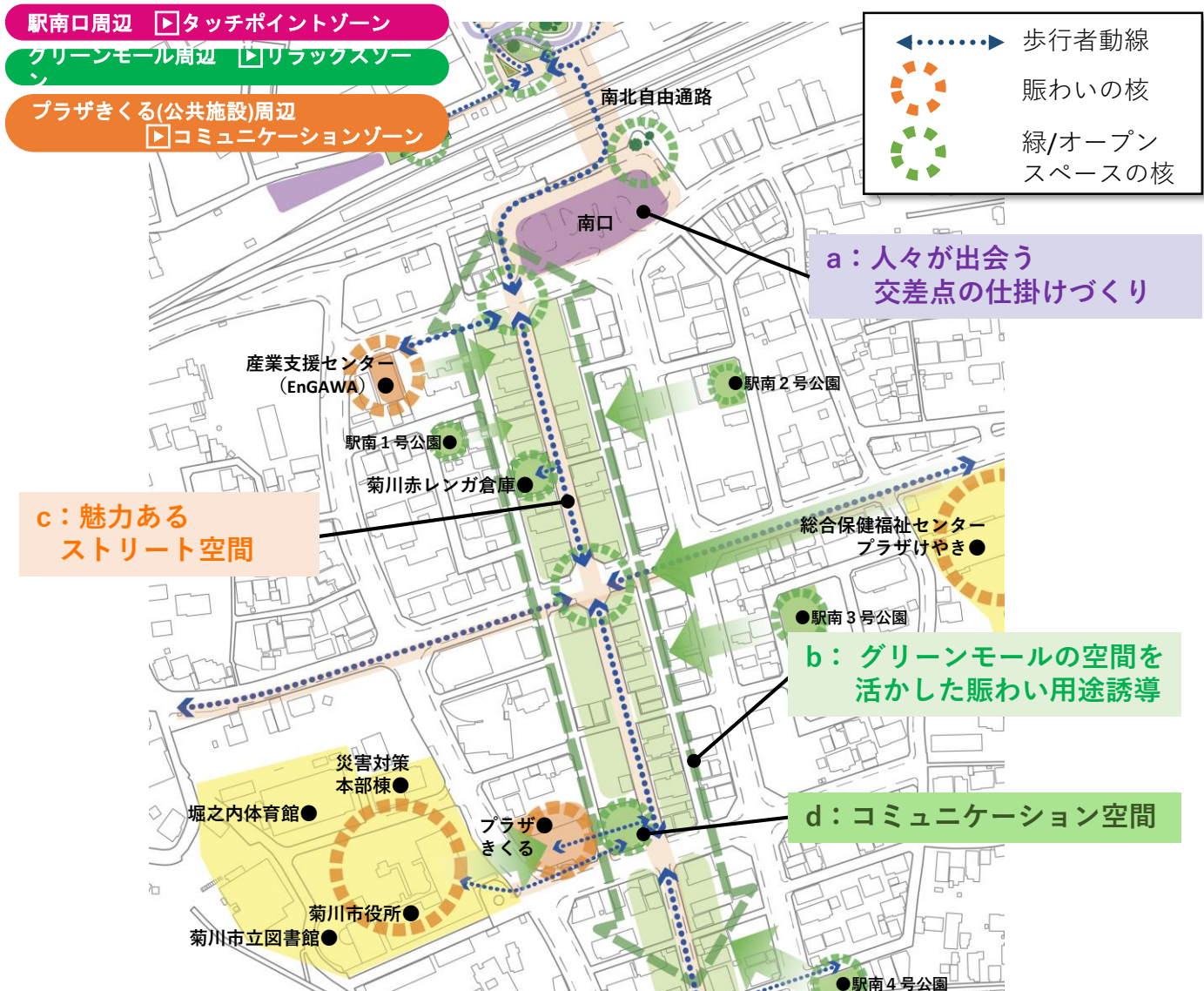


東京都立川市 | GREEN SPRINGS

野菜や名産品などのマルシェが立ち並んでいます。出店者と会話をしながら地場の名産を購入することができます。

駅南口

南側は駅前からグリーンモールやプラザきくる、その他各種店舗、公共施設など既存の施設・機能を活かした空間づくりと動線の構築を進めます。



a: 人々が出会う交差点の仕掛けづくり

鉄道からバス、自転車などへの乗り換え、送迎待ち、北口からの移動などさまざまな動線のタッチポイントとなる空間。待ち空間を楽しめる施設の充実。

- ・ 軒先空間
- ・ 木陰
- ・ 椅子テーブルの設置 など

c: 魅力あるストリート空間

登下校時や公共施設利用時に通りたくなるストリート空間。菊川駅を中心を貫くメインストリートとしての、賑わい軸の形成。気軽に立ち寄れるサードプレイスの整備・充実。

- ・ イベントの実施
- ・ 東西方向の道路とグリーンモールが交わる交差点部分の空間デザイン
- ・ 空き地・空き家を活用した飲食店・バー
- ・ 歴史的資源である赤レンガ倉庫及び周辺広場空間の有効活用 など

b: グリーンモールの空間を活かした賑わい用途誘導

菊川ならではのグルメや特産品等を味わうことのできる、日常利用可能な商業店舗。

- ・ 個性あるカフェ、学生向けの飲食店
- ・ 空き店舗を活用した交流スペース
- ・ ストリートに面する店舗ならではの空間づくり（オープンテラス、通りに面した縁側空間）など

d: コミュニケーション空間

プラザきくるや公共施設、沿道施設利用者がくつろいだり交流したりすることのできる空間。

- ・ プラザきくと連携した若者向けのイベントの実施
- ・ 椅子・ベンチ・テーブルの設置
- ・ 運動器具(高齢者も利用できる)の整備 など

a: 人々が出会う交差点の仕掛けづくり



広島県広島市 | KOI PLACE

屋根のある空間があることで、雨天や強い日差しの日でも、電車を待つ間の時間を快適に過ごすことができます。

b: グリーンモールの空間を活かした賑わい用途誘導



静岡県掛川市 | 掛川ストリートテラス

道路上の余白を活かしたテラス空間が整備されています。沿道店舗の利用者や通りすがりの人など、誰でも使える空間になっています。

c: 魅力あるストリート空間



静岡県静岡市 | 呉服町・七間町ハニカムスクエア

ちょっと腰掛けられるベンチや、子どもが遊べる空間など、わくわくするような魅力のあるストリートになっています。おもわず歩きたくなる空間です。



神奈川県川崎市 | 登戸道路空間社会実験

沿道には大人も子どももくつろげるテーブルやパラソル、ハンモックなどが設置されています。通行空間と滞留空間が分けられ、安心して利用できる空間になっています。

d: コミュニケーション空間



広島県広島市 | カミハチギテル相生通り社会実験

ベンチや植栽などが整備され、腰をかけてお喋りができる空間になっています。友達とでもおひとり様でも、多様な過ごし方ができる空間です。



山口県宇部市 | 平和通り歩行者天国社会実験

若者向けのイベントが充実し、誰もが気軽に運動を楽しめる空間になっています。

VII. 自分たちにできることは何だろう

地域と行政が連携して進めるまちづくり

駅周辺のまちづくりにあたっては、場所を利用する市民・通勤通学者・来街者など“まちにいるひと(民)”と行政(官)の連携(官民連携)が必要不可欠です。

今ある場所をより魅力的に、よりうまく使っていくために何をしたら良いのか、新しくできる場所をどう利用・活用していくのか、本構想の策定にとどまらず、実践段階に向け引き続き官民連携による検討を行っていきます。

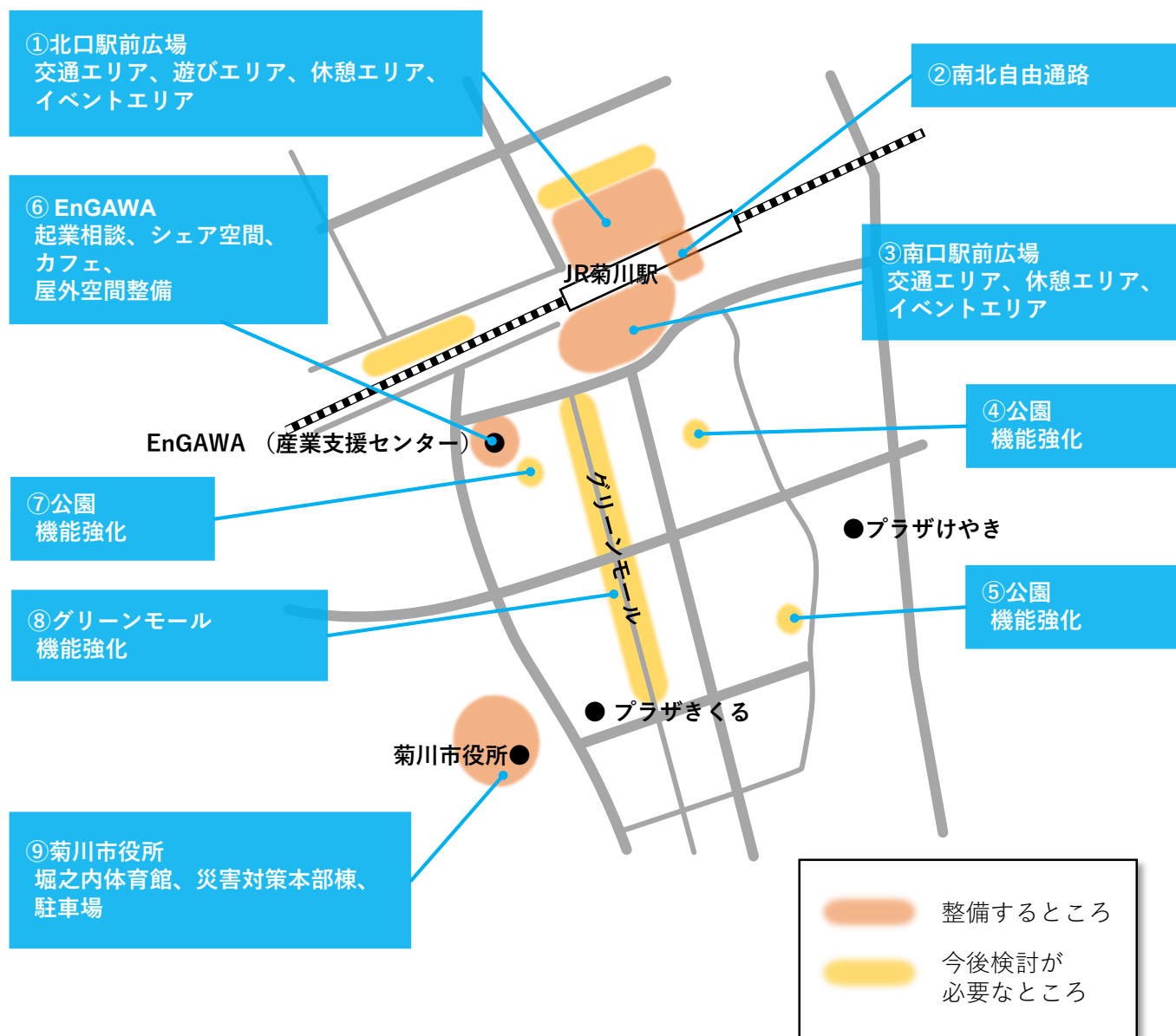
■駅周辺における整備の予定

菊川駅周辺では、下図に示すような施設整備の推進・検討を予定しています。

駅前広場や南北自由通路など既に着手・計画している施設については、市先導のもと、より便利で魅力的な駅周辺の施設・空間づくりに向けて整備を進めます。

また、グリーンモールの修景や公園の機能強化などについては、今ある空間をより磨き上げていくための検討や整備を、民間活力の導入や地域の皆さんとの共同により進めていきます。

【菊川駅周辺で予定されている主な施設整備】

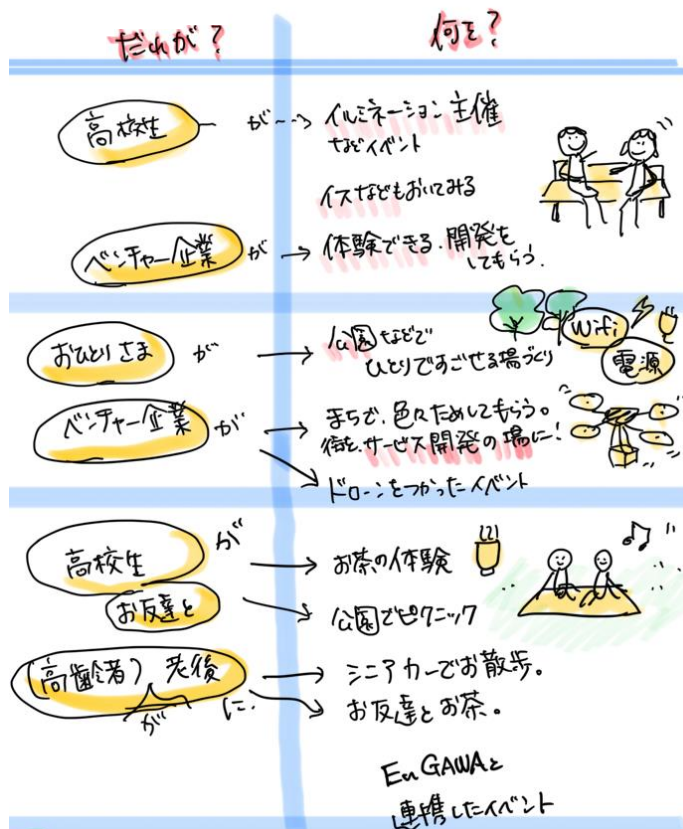


■民間活力の活用アイデア

駅周辺での様々な空間整備が進められていく中、地域では整備された空間を使ってどんなことをしたいか、民間の活力を使ってどう活用できるかアイデアを出し合いました。「高校生が友達と楽しめるイベントをやりやい!」、「企業と一緒にまちで最先端の技術を試したい!」、「ひとりでものんびり過ごせる公園をつくりたい!」など様々な意見が出されました。

これらのアイデアをより多く実現できるよう、官民連携による空間活用を推進していきたいと考えています。

【空間活用探求ワークショップで出された空間活用アイデア】



段階的なまちづくり（まちづくりのステップ）

駅周辺の空間活用にあたっては、本構想に基づく取り組みの実践や構想のアップデートを積み重ね、段階的なまちづくりとして進めます。

また、「菊川駅周辺空間活用構想」は、まちづくり活動の拡大・多様化、社会ニーズの変化などに合わせて柔軟にアップデートし、常に菊川駅周辺に関わる全ての人の“まちづくりのみちしるべ”として身近にあることを目指します。

段階的な活動の拡大・多様化

アップデート

エリアの
価値向上

実践の積み重ね

スタートアップ

これまでの活動

- 菊川駅周辺に関係する多様な団体の活動
(商工業・観光団体、市民活動団体、賑わいづくり研究会 等)

- 菊川駅周辺空間活用構想
(共通のビジョンの共有)
- 駅南北自由通路整備

- 各ステークホルダー
(関係者) による活動
- 社会実験

- 地域の実情に合わせた活動の拡大